

高浜村(天草町)の沿革

在任	西暦	村長	人口(人)	村の主な行事
明治元年 ～3年	1867～70	庄屋 上田源作		明治1年 富岡県→天草県→長崎府 明治3年 庄屋を廃止、里正を置く
明治4年 ～11年	1871～80	里正、戸長 上田松彦		明治4年 八代県→明治6年白川県→明治9年熊本県 明治6年 里正を廃止、戸長を置く
明治12年 ～14年	1881～84	戸長 上田福穂		明治10年 高浜郵便局発足
明治15年 ～21年	1885～88	戸長 上田松彦		明治19年 隣峰庵 寺号昇格独立
明治22年 ～23年	1889～90	初代 村長 江上利七	3890	明治22年 高浜村発足(全国市町村制発足) 明治33年 北原白秋他「五足の靴」高浜通過、大江泊
明治24年 ～35年	1891～02	村長 宮口正記		明治35年 タ浦大師堂裏山に「八十八か所靈場開基
明治36年	1903	村長 福島末太郎		明治36年 高浜漁業組合設立(組合員83)
明治37年 ～40年	1904～07	村長 山田福七		明治38年 「仁和賀驛動祭礼屋台の若者衆、警官と闘着 明治39年 征露記念学校林設定 明治40年 北原白秋他「五足の靴」高浜通過、大江泊 明治40年 十三仏堂建立
明治41年	1908	村長 浜崎寛治		
明治42年 ～44年	1909～11	村長 伊野正賀		明治42年 小学校校舎焼失 明治45年 小学校移転新築完成(平屋、2棟)
明治45年 ～大正5年	1912～16	村長 山田福七		大正1年 陶石搬出馬車軌道開通(皿山～波止場) 大正5年 役場新築落成
大正6年 ～9年	1917～20	村長 増田豊彦		大正7年 電灯配線(中心部200戸) 大正8年 高浜八幡宮正遷宮(現社殿)
大正10年 ～昭和3年	1921～28	村長 峰 信義	4305	大正11年 合資会社上田商店創立
昭和4年 ～15年	1929～40	村長 上田健郎	3456	昭和5年 西平道路工事着工(不況救済事業) 昭和6年 県道白鶴橋共用開始(高浜・下津深江開通) 昭和7年 高浜小学校改築 昭和8年 高浜村宗派別戸数 曹洞730,浄土真15,天理19,クリリスト3,神道3 時刻報知サイレン檣塔据え付け基礎工事 昭和10年 妙見浦、国の名勝天然記念物に指定 昭和11年 千ノ通トンネル貫通(県道高浜大江間開通) 昭和13年 西平地区に電灯灯る 高浜小に平型ピアノ寄贈
昭和16年 ～19年	1941～44	村長 山下喜惣由	3584	昭和14年 役場新築移転(旧町庁舍位置) 昭和17年 村道皿山線整備開通 昭和19年 高浜忠靈塔建立
昭和20年 ～21年	1945～46	村長 浜崎三翁	4871	昭和20年 終戦により海外からの復員、復員者の帰郷増 昭和21年 十三野に開拓入植始まる
昭和22 ～30年	1947～55	村長 浜崎寿翁	4900	昭和22年 新制高浜中学校発足 昭和25年 高浜中学校校舎落成 昭和26年 高浜漁港起工式(国旗を振って港まで全校生行進) 昭和27年 白龍浜松林内に「造林感謝塔」建立 上田陶石に高浜焼再興(現 寿芳窯) 昭和28年 小学校校庭に「造林感謝塔」建立 昭和29年 高浜村営火葬場新設 高浜簡易水道起工 大庵、荒尾岳開拓団地に電気導入
昭和31年 ～38年	1956～63	町長 丸岡桂輔	11032	昭和30年 隣峰寺現本堂新築
昭和39 ～42年	1964～67	町長 浜崎寿翁	9756	
昭和43年 ～昭和54	1968～79	町長 丸岡桂輔	6943	
昭和55年 ～平成15年	1980～03	町長 森 安広	4726	



山田福七氏・昭和10年没



山田福七氏
昭和10年没

高浜 造林感謝塔建設の経緯

高浜に二つの造林感謝塔がある。

一つは、白鶴浜の松林の中。一つは、小学校の校庭にある。

明治時代の後期から大正時代の初期にかけて、当時の山田福七村長の強いリーダーシップで白鶴浜及び村林に植林が実施され、その後の防災、経済に大きく貢献した。この功績により造林感謝塔の建設に繋がった。

(記)

1、 白鶴浜の造林感謝塔（昭和 27 年 1952 年建立）

海岸の松林は、昔は木の無い高い砂山であった。

その砂山の保護、街への防風の為に松の植林を実施した。

2、 小学校校庭の造林感謝塔（昭和 28 年 1953 年建立）

将来の村財政を考え、村民の暴力的な強い反対運動を押し切り、村長の強いリーダーシップで植林を果たした。その後、村林の成長により、村の財政、学校建設の建材等に貢献した。



村長 山田福七
明治 37 年～40 年
明治 45 年～大正 5 年

白鶴浜の造林感謝塔 昭和 27 年建立

小学校校庭の造林感謝塔 昭和 28 年建立

以上